

状況	表示	音声
停車中、前方の信号機が、あと5秒で青に変わるとき（発進遅れ防止支援）		まもなく青信号です。
前方の信号交差点の案内ができないとき		なし

* 1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

- 各支援の設定について、詳しくは(P.90)をご覧ください。
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や道路標識、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 支援ありアイコン表示のまま、案内を行わない場合があります。
 - 提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
 - 信号機の色が変わる直前するとき
 - 対象となる交差点までの距離が短いとき
 - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 支援なしアイコンが表示される場合があります。
 - 信号機のサイクルに応じた有効時間があります。有効時間が経過すると案内ができなくなります。
 - 信号機の制御方式（押しボタン式、感応式など）により、信号情報が不確定なため、案内しない交差点があります。
- ご利用には、TSPSに対応したETC2.0車載器が必要です。
- すべての光ビーコンでTSPSの情報を提供している訳ではありません。対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

リアビューカメラと組み合わせる

接続する各機器の説明書もよくお読みください。

リアビューカメラに切り換える

カメラの映像は、視野・距離感が目視時とは異なります。車両を移動させる際には、必ず目視でも確認してください。

準備

- カメラ設定をしてください。

車のシフトレバーを「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- カメラ映像が見にくいときは、「カメラスケール表示」の調整画面を表示させ、画質を調整してください。
- ドライブレコーダー(CA-DRO3TD)を接続している場合、ドライブレコーダーのリアカメラの映像を表示します。

リアビューカメラの設定をする

リアビューカメラをご利用になる前に、下記設定を行ってください。

1 **MENU** を押し、**情報・設定**
▶ **システム設定** を選ぶ

2 **システム設定画面から** **その他設定**
を選ぶ

3 **カメラ設定** を選ぶ